

令和4年第8回函館市教育委員会定例会 会議録

1	日 時	令和4年（2022年）8月5日（金） 午後1時30分
2	場 所	市役所本庁舎5階教育委員室
3	出席者	辻教育長，藤井委員，小葉松委員，須田委員，神田委員
4	欠席者	
5	事務局	小笠原学校教育部長，吉本生涯学習部次長，清藤生涯学習部次長， 金野教育政策推進室長，渡邊管理課長
6	傍聴者	0人
7	付議事項	
日程第1	議案第1号	大船遺跡史跡外駐車場整備用地の変更に関し，議決を求めることについて
日程第2	議案第2号	教職員の懲戒処分の内申に関し，議決を求めることについて
日程第3	議案第3号	令和4（2022）年度教育費補正予算要求に関し，議決を求めることについて
日程第4	報告第1号	教職員の懲戒処分内申の結果について
日程第5	報告第2号	令和3（2021）年度公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団決算について
日程第6	報告第3号	令和3（2021）年度一般財団法人函館市学校給食会決算について
日程第7	報告第4号	令和4年度全国学力・学習状況調査結果概要について
<p>■辻教育長</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 開会宣言 午後1時30分 ○ 議事録署名人に，藤井委員，小葉松委員を選任。 ○ 本日の日程のうち，日程第2，議案第2号「教職員の懲戒処分の内申に関し，議決を求めることについて」から，日程第8，報告第3号「令和3（2021）年度一般財団法人函館市学校給食会決算について」を「非公開」としたいが，いかがか。 ○ 異議がないので，「非公開」とさせていただく ○ それでは，日程第1，議案第1号「大船遺跡史跡外駐車場整備用地の変更に関し，議決を求めることについて」を諮る。 <p>■生涯学習部次長</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 議案第1号「大船遺跡史跡外駐車場整備用地の変更に関し，議決を求めることについて」説明する。現在の大船遺跡史跡外駐車場整備用地は，「大船町563番地2外1筆」，地積は1，226㎡となっており，このたびは，この用地を変更しようとするものである。変更内容であるが，図中，黄色と赤色で着色された部分が，大船遺跡史跡外駐車場として整備する範囲である。そのうち黄色で着色された部分1，226㎡については，本年3月25日に開催された，第3回教育委員会定例会において議決いただいたとおり，教育 		

財産として所管替えが完了している。赤色で着色された部分は、このたび南茅部支所から所管替えしようとする土地339㎡であり、この結果、変更後の整備用地の地積は、1,565㎡となるものである。

■辻教育長

- 議案第1号について何かあるか。

(意見なし)

■辻教育長

- 議案第1号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第2、議案第2号「教職員の懲戒処分の内申に関し、議決を求めることについて」を諮る。

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 議案第2号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第3、議案第3号「令和4(2022)年度教育費補正予算要求に関し、議決を求めることについて」を諮る。

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 議案第3号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第4、報告第1号「教職員の懲戒処分内申の結果について」報告を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 次に、日程第5、報告第2号「令和3(2021)年度公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団決算について」報告を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 次に、日程第6、報告第3号「令和3（2021）年度一般財団法人函館市学校給食会決算について」報告を求める。

（非公開につき、会議録省略）

■辻教育長

- 次に、日程第7、報告第4号「令和4年度全国学力・学習状況調査結果概要について」報告を求める。

■学校教育部長

- 報告第4号「令和4年度全国学力・学習状況調査結果概要について」報告する。今年度は国語、算数・数学、理科の3教科が実施され、質問紙調査等の結果から、特に函館市の児童生徒の特徴として考えられる項目において推察される成果と課題について説明する。まず、授業中に学習用端末を活用する場面が増えていること、いじめは許されないという意識をもつ児童生徒が多いこと、次に、「ゲームを利用する時間」、「スマートフォン等でSNSや動画視聴する時間」が長いなどの課題があること、そして、算数や数学に一層の努力が必要であることの3点が特徴として見受けられた。次に、質問紙調査の結果から見える成果について説明する。「小学校では5年生まで、中学校では1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用した」と回答した児童生徒が小学校で37.4ポイント、中学校で37.5ポイントと、全国と比較して高い傾向にあり、また、学校質問紙において、ICT機器を活用した授業を行っている学校の高い傾向である。次に、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」と回答した児童生徒が、小学校で87.8ポイント、中学校で88.2ポイントと高い傾向にある。このことについては学校質問紙において、学校生活をよりよくするために話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を合意形成できるような指導や、特別の教科道徳において児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の高い傾向であり、一人に一台の学習用端末が配付され、各学校が効果的に活用していることや、いじめはどんな理由があっても許されないことであるという意識をもつ児童生徒が多いことが成果と考えられる。教育委員会としては、今後全ての中学校に整備されたAIドリルを活用するほか、端末を効果的に活用した実践等を紹介し、一人一人に寄り添ったきめ細かな学習活動の充実を図るよう働きかけていく。また、引き続き「いじめ等の問題を考える集会」等を通じて、いじめの未然防止、早期発見・早期対応について対策を推進していく。次に、質問紙調査の結果から見える課題について説明する。1日当たり2時間以上ゲームをしている児童生徒の割合は、小学校で63.0ポイント、中学校で59.8ポイントと、高い傾向にある。1日当たり2時間以上スマートフォンでSNSや動画視聴などを行っている児童生徒の割合は、小学校で41.6ポイント、中学校で60.1ポイントと、高い傾向にある。放課後や週末に何をして過ごすことが多いかを見ると、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている児童生徒の割合が小学校で85.6ポイント、中学校で91.8ポイントと高い傾向であり、家庭での勉強時間やゲーム利用時間を含め、一日の生活時間を見直すことや、ゲームの利用について家庭での約束事を改めて確認することが今後の課題と考える。今後はゲームを長時間行うことでのゲーム障害の症状や、SNSをはじめとするインターネットを利用するなかでのトラブル等について学校、家庭、地域に周知するとともに、家庭でのルールについて改めて話し合う機会を設けるよう働きかけていく。また、「その他の特徴」として全国と函館市の結果を比較した項目の中から着目したい項目4点

について記載している。最後に「平均正答数・平均正答率」を記載している。平均正答数で比較すると、全ての教科で、全国との差が0.9ポイント以内となっており、平均正答率で比較すると、全ての教科で、全国との差が6.4ポイント以内となっている。この後、さらに詳細な分析を行い、市教委としての取組に生かしていきたいと考えている。分析については、今後ホームページに追加して掲載する。

■辻教育長

- 報告第4号について何かあるか。

(意見なし)

■辻教育長

- これで、報告事項を終了する。

■終了宣言

- 午後2時31分

議事録署名人 藤井 壽夫

〃 小葉松 洋子

調製者庶務係 庭田 真由